エコアクション２１
２０２２年度/環境経営レポート

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です
エコアクション21
認証番号
0011818

株式会社　東北エヌイーエレクトロ

対象期間　2022年　4月　1日～2023年　3月　31日
2023年　6月　9日　発行
2023年　7月　11日　改定

目次

1、会社の概要	・・・P 3
2、環境経営方針	・・・P 5
3、実施体制	・・・P 7
4、環境経営目標と環境経営計画	・・・P 8
5、環境経営目標・計画の実績と評価	・・・P 9
6、取り組み内容と評価	・・・P 1 3
7、環境関連法規などの遵守状況の確認 （評価の結果、違反・訴訟などの有無）	・・・P 1 7
8、次年度の環境経営目標と環境経営計画	・・・P 1 8
9、代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・P 1 9

1、会社の概要

事業所名	株式会社　東北エヌイーエレクトロ
代表者	代表取締役社長　　川田　雅彦
所在地	本社工場　　〒999-2172　山形県東置賜郡高畠町大字夏茂24番地 福沢工場　　〒999-2174　山形県東置賜郡高畠町福沢4-899
従業員数	46名
敷地面積	本社工場　　959.04㎡ 福沢工場　　430.61㎡
環境管理責任者	吉田　一行
担当者/EA21事務局	猪口　喜久子
連絡先	TEL　　(0238) 57-5001 FAX　　(0238) 57-5051 MAIL　　k-inokuchi@tohoku-ne.com H.P　　http://tohoku-ne.com
認証・登録範囲	株式会社 東北エヌイーエレクトロ　全組織・全活動
対象期間	2022年　4月　1日　～　2023年　3月　31日
発行日 改定日	2023年　　6月　9日 2023年　　7月　11日

私たちの会社は、山形県の南東部に位置する
高畠町にあり、奥羽の山並みの扇状地に拓けた
美しく豊かな町です。

豊かな自然と、歴史ある高畠町の環境を守るため高
畠町でも様々な環境活動を展開しています。

会社の歩み

1981年 根津製作所 設立
1984年 有限会社 根津製作所に組織変更（出資金300万円）/工場増改築
1989年 米沢工場設立
1997年 株式会社 東北エヌイーエレクトロに組織変更（出資金1000万円）
2000年 ISO9002規格認証取得
2010年 工場増改築/東京営業所設立
2011年 創立30周年/本社工場新設

2011年▲

2014年▲

2013年 ISO9001取得
2014年 本社工場隣に第二工場　増築

2015年 取引先コスモスウェブ　ISO13485取得（実装工程として認定）
2017年 エコアクション21 取得 /医療機器製造業 登録
2018年 組織変更　（株）コスモスウェブと経営統合/第三工場新設

2019年　福沢工場▲

2019年 福沢工場の稼働開始 （第三工場から福沢工場へ組立工程を移管）

2021年 ISO13485認証取得

2、環境経営方針

基本理念

株式会社　東北エヌイーエレクトロは、電子機器製造及び機器組立等の事業活動が
環境に与える影響を認識し、全従業員が地域に密着した環境にやさしい行動に努め、
持続的発展が可能な社会の実現及びありがとうの気持ちでお客様、社員の幸福を目指します

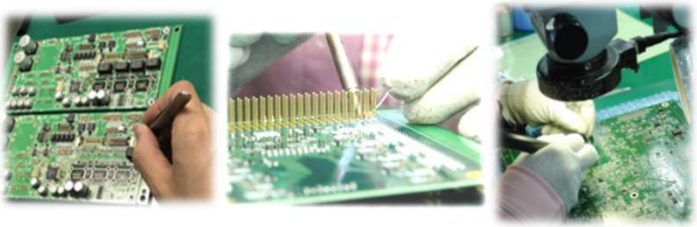
行動指針

1、環境関連法規制・条令等を遵守します。
2、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に努めます。
3、資源の効率的な使用を推進し、廃棄物の排出量を削減します。
4、水資源の効率的利用に努め、総排水量を削減します。
5、化学物質の適正管理に努め、使用量を削減します。
6、品質の安定・生産性向上に努め、無駄作業の削減を図り環境に配慮した製品づくりを目指します。
7、地域の環境活動に積極的に取り組みます。
8、環境方針を全従業員に周知すると共に、目標を設定し継続的に改善します。

制定日　　2016年9月1日
改定日　　2022年7月1日
株式会社　東北エヌイーエレクトロ
代表取締役　　川田　雅彦

主な使用設備

手半田付けによる実装



半田コテ（白光）　：FX-951
（その他、用途により高周波半田コテ、リペア機、ブロー　等を使用）

ハーネス加工・機器組立

電動式クランパー（大同端子製造）　：　DH-1B

SMT・DIP装置によるマシン実装

印刷機（DEK）　：HORIZON03iX / HORIZON 02i
半田印刷検査機（CKD）　：VP5200L-V
マウンター（YAMAHA発動機）　：YS24+YS100 / YSM20R
リフロー装置（エイテックテクトロン）　：AIS-20-82C
（千住金属）　：SNR-1050GT Ver,4.00
リフロー装置（エイテックテクトロン）　：AIS-20-82C
（千住金属）　：SNR-1050GT Ver,4.00
DIP噴流槽[有鉛]（セイテック）　：TOM-7-350
DIP噴流槽[無鉛]（セイテック）　：TW-400L
ポイント半田付け装置（セイテック）　：STS-2533Sj

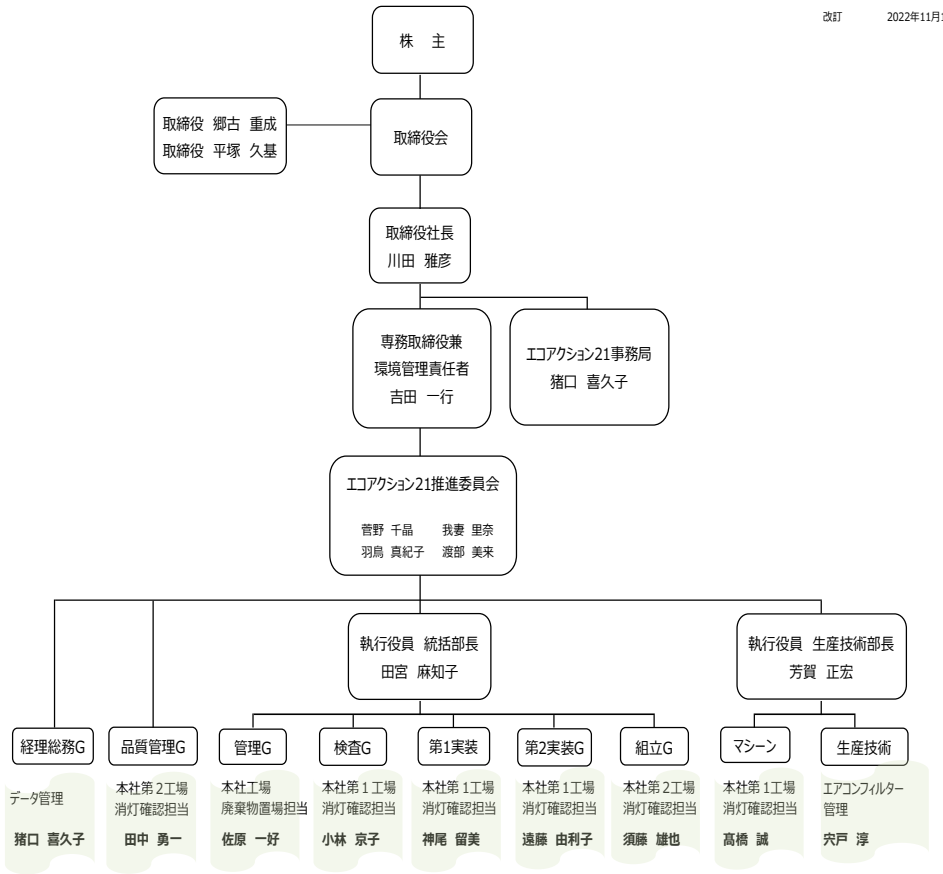
検査体制

卓上型基板外観検査装置（SAKI）　：　BF18D-P40
大型基板外観検査装置（SAKI）　：BF-Sirius
X線検査装置（メディエックステック）　：MX-90Basic

3、実施体制

エコアクション21　実施体制図

制定　2021年4月19日
改訂　2022年11月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	●環境経営に関する統括責任 ●経営における課題とチャンスの明確化 ●実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限） ●環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ●環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を準備する ●環境管理責任者を任命する ●代表者による全体の評価と見直しを実施する
環境管理責任者	●環境経営システムを構築・運用する（代表者からEA21の権限を委譲） ●環境経営目標及び環境経営計画/実績を管理、評価する ●環境への取組みを評価する ●教育・訓練の実施を指示する ●環境上の緊急事態への準備・対応を指示する ●環境関連法規等の取りまとめ表作成遵守評価を実施する ●環境活動の取組み結果を代表者へ報告する
環境事務局	●EA21の推進（環境管理責任者の指示を受けて実行委員と共に活動する） ●環境ネットやまがたとの窓口業務を行う ●審査に関する対応を行う ●環境関連文書・記録の管理 ●月ごとのデータ集計
エコアクション21推進委員会	●環境事務局とともにEA21を推進（環境管理責任者の指示を受けて） ●環境への取組チェックを実施する ●事務局と共に環境レポートを作成する ●環境活動のチェック、及び推進
総務経理部門 製造部門 品質管理部門 生産技術部門	●外部環境情報の窓口（総務経理部） ●環境経営目標及び環境経営計画の実施 ●実施上の問題点の是正・予防処置実施 ●各担当の役割を実施する（確認及び、達成状況の報告） ・データ管理・・・電気使用量、水使用量等のデータ管理 ・グリーン購入・・・環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する（コピー用紙など） ・エコ運転推進・・・“ふんわりアクセル”でやさしく発進や、アイドリングストップなどの推進 ・廃棄物置場・・・適切な分別や廃棄物置場の５Ｓを管理する ・エアコンフィルター管理・・・2回/年のエアコンフィルター清掃及び交換等の指示、管理 ・消灯確認・・・休憩時間等のこまめな消灯を実施する
全従業員	●環境経営方針を理解し、環境への取組みの重要性を自覚する ●日常の生活、日々の生産活動の中で、環境に配慮する ●EA21で決められた各自の役割を実施する

４、環境経営目標と環境経営計画

期間：2022年4月～2023年3月

〈 環境経営目標 〉

項 目		基準年	実績値	環境経営目標（2022年4月1日～2023年3月31日まで）		中期経営目標（期間：2021年度～2023年度）			
				内 容	目標値	内 容	2021年	2022年	2023年
①二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量【本社工場】	2018年度	2.402（1時間当たり）(Kg-CO2/H)	基準年度実績値の3%削減	2.31Kg -CO2/H	基準年度実績値の5%削減	2.33	2.31	2.28
							3%削減	4%削減	5%削減
	■二酸化炭素排出量【福沢工場】	2020年度	1.726（1時間当たり）(Kg-CO2/H)	基準年度実績値の1%削減	1.69Kg -CO2/H	基準年度実績値の3%削減	1.71	1.69	1.67
							1%削減	2%削減	3%削減
②廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物	2018年度	1,818t（年）	基準年度実績値の1%削減（コピー用紙リサイクル向上により、一般廃棄物の削減を実施）	1,790t/年	基準年度実績値の2%削減（リサイクル率を増加し、一般廃棄物の削減を図る）	1,799t	1,790t	1,781t
							1%削減	1.5%削減	2%削減
	■コピー用紙（白）リサイクル	2019年度	購)349.8kg リ)69.3kg =19.8%	コピー用紙（白）のリサイクル率基準年度実績値の1%アップ	リサイクル率21.3%	基準年度実績値から2%増加（購入量とリサイクル量から算出）	リサイクル率20.8%	リサイクル率21.3%	リサイクル率21.8%
							1%増加	1.5%増加	2%増加
③水使用量の削減	■上 水(m³)【本社工場】	2017年度	34/m³月	管理と節水の呼びかけ基準年度実績値の3%削減	32.6/m³月	基準年度実績値の5%削減	32.9/m³月	32.6/m³月	32.3/m³月
	■上 水(m³)【福沢工場】	2020年度	6/m³月	管理と節水の呼びかけ基準年度実績値の1%削減	5.88/m³月	基準年度実績値の3%削減	5.94/m³月	5.88/m³月	5.82/m³月
④化学物質使用量の削減	■化学物質	-	-	適正管理の実施	-	適正管理の実施	-	-	-
⑤製品・サービス関連	■品質向上	2020年度	16.8H/月	後戻り工数の削減（基準年比）	16.1H/月	基準年度実績値の6%削減	16.5H/月 2%削減	16.1H/月 4%削減	15.8H/月 6%削減
⑥その他（環境保全）	■コミュニケーション向上	-	-	環境教育関連の実施	1回/年	環境に関する教育を実施する	1回/年		
	■地域貢献活動	-	-	会社周辺の清掃活動	2回/年	会社周辺の清掃活動	2回/年		

〈 環境経営計画 〉

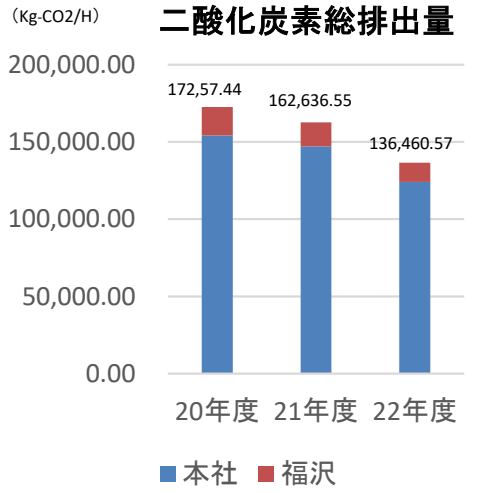
環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつ)	該当場所・部門 (どこで)	担当者 (だれが)	持続可能な未来へ！ TNEのSDGｓ
①二酸化炭素 排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	8月、12月	全社	技術G	
		■照明器具の改善　(LED蛍光灯への切替90%済) ■デマンド管理の有効活用 ■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	通年		EA21事務局 職場リーダー	
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	■アイドリング時間の削減 ■急発進、急加速はしない ■不要な荷物はおろす ■タイヤの空気圧を定期的に調整する ■エコ運転カードの社有車への設置	通年	全社有車	会社車両運転者 全員	
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■ウォームビズの促進　※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	暖房期	全社	全員	
		■クールビズの促進　※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	冷房期			
②廃棄物 排出量の削減	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■分別の徹底	通年	全社	EA21事務局	
		■コピー用紙のリサイクル継続		廃棄物置場	EA21事務局	
		■コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の継続） ■トイレットペーパーは芯なしを使用継続 ■アルミ（プルタブ、缶等）の回収活動		全社	全員	
	■産業廃棄物の適正管理	■保管場所の管理		廃棄物置場	産業廃棄物 担当者	
		■マニフェスト・契約書類の管理		事務	総務部	
③水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水（掲示）	通年	全社	全員	
		■トイレの水流し音の継続				
④化学物質 使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続	通年	全社	EA21事務局	
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、従業員に教育する				
⑤製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続	通年	製造	該当者	
		■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う ■手順書作成による作業標準化の継続 ■後戻り工数の削減（DIP条件見直しによるDIP修正作業の低減　等）		全社	品質管理部	
	■職場改善による作業効率化	■職場改善を実施し、作業効率化を図る				
⑥その他 （環境保全）	■敷地内緑化	■花壇を整備し、地域とのコミュニケーションを図る	通年 (冬季を除く)	全社	EA21事務局 EA21推進委員会	
	■環境教育の実施	■環境に関する教育を事務局を中心に実施する	年1回	全社		
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年２回	会社周辺		

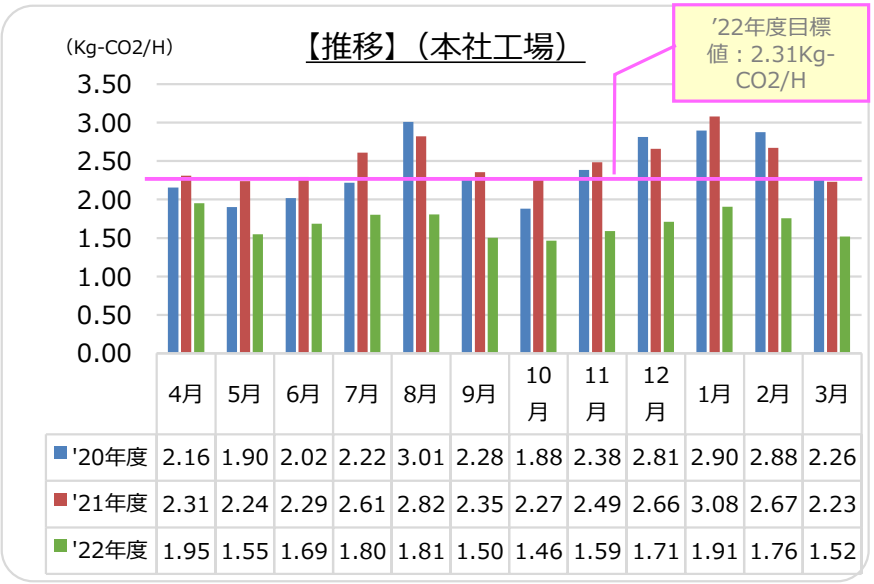
5、環境経営目標・計画の実績と評価

①二酸化炭素総排出量の削減

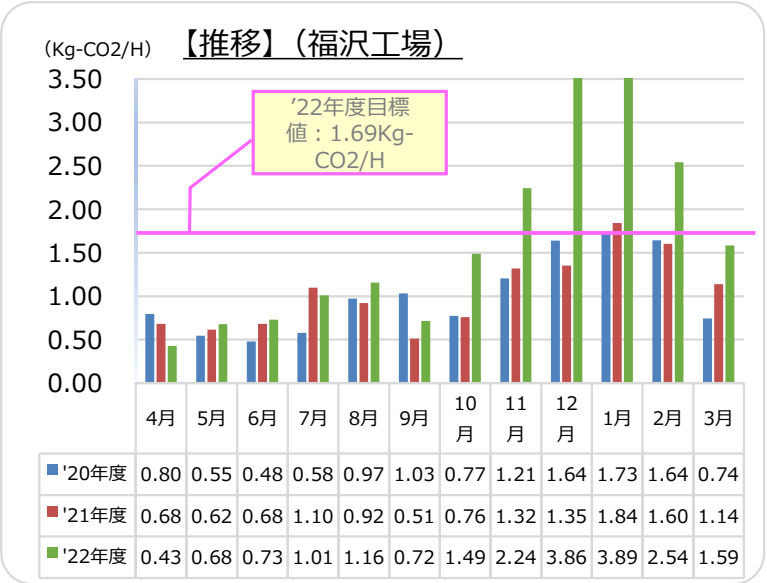
※　1時間当たりの二酸化炭素排出量の削減を目標にしています

項　目		基準値	電気事業者/排出係数	2022年度　対象期間			
				目標値	実績	評価	
1時間当たりの二酸化炭素排出量 （電気、ガソリン、軽油、灯油、LPG含む）	本社工場	2.402Kg-CO2 （2018年度実績）	（株）グリムスパワー/ 0.486kg-CO2/kWh	2.31Kg-CO2 （基準年度実績値の4%削減）	1.68Kg -CO2/H	136.7%	
	福沢工場	1.726Kg-CO2 （2020年度実績）	東北電力（株）/メニューC 0.488kg-CO2/kWh	1.69Kg-CO2 （基準年度実績値の2%削減）	1.43Kg -CO2/H	100.0%	





	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
'20年度	2.16	1.90	2.02	2.22	3.01	2.28	1.88	2.38	2.81	2.90	2.88	2.26
'21年度	2.31	2.24	2.29	2.61	2.82	2.35	2.27	2.49	2.66	3.08	2.67	2.23
'22年度	1.95	1.55	1.69	1.80	1.81	1.50	1.46	1.59	1.71	1.91	1.76	1.52

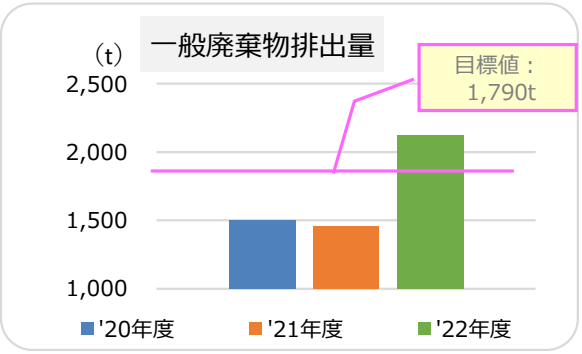


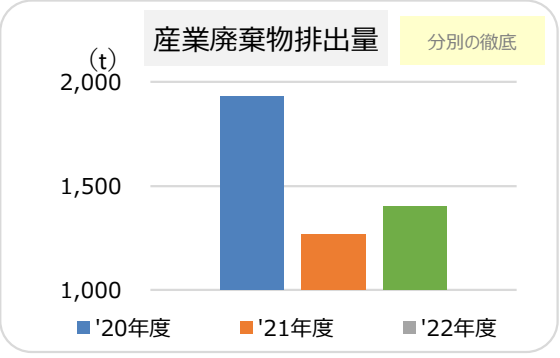
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
'20年度	0.80	0.55	0.48	0.58	0.97	1.03	0.77	1.21	1.64	1.73	1.64	0.74
'21年度	0.68	0.62	0.68	1.10	0.92	0.51	0.76	1.32	1.35	1.84	1.60	1.14
'22年度	0.43	0.68	0.73	1.01	1.16	0.72	1.49	2.24	3.86	3.89	2.54	1.59

評価コメント）今期は本社工場、LED照明の入れ替えエアコンの入れ替えを実施し、さらなる省エネ化を進めた結果二酸化炭素の総排出量が抑えられ改善できたと考えている。
福沢工場に関しては冬場の数値が上がっており設備含め改善が必要。
来期は維持管理を進め削減に取り組んでいく

②廃棄物排出量の削減

項　目		基準値	2022年度　対象期間			
			目標値	実績	評価	
一般廃棄物排出量		1,818t （2018年実績）	1,790t/年 （基準年度実績値の1.5%削減）	2,128t/年	約17%増 （基準値比）	×
産業廃棄物		207kg/月 （2015年実績）	分別の徹底 （資材は顧客支給のため）	117kg/月 （平均）	約43%減 （基準値比）	◎
リサイクル（古紙・段ボール）		159kg/月 （2015年実績）	コピー用紙（白）のリサイクル率 基準年度実績値の1.5%アップ	216kg/月 （平均）	再資源化 36%増 （基準値比）	◎
内訳	機密文書	－ （実績無し）		60.0kg/年		
	段ボールリサイクル	159kg/月 （2015年実績）		192kg/月 （平均）		
	古紙リサイクル （白コピー用紙のみ）	リサイクル率：19.8%/年 （2018年実績）		1.87%/年		





※　廃棄物は、福沢工場と本社工場を合わせて管理する

評価コメント）
棄物や古紙・段ボールのリサイクルについては、目標を達成することが出来なかった。
電子部品の入手難も解消に向かい生産量の増加が影響したと思われる。

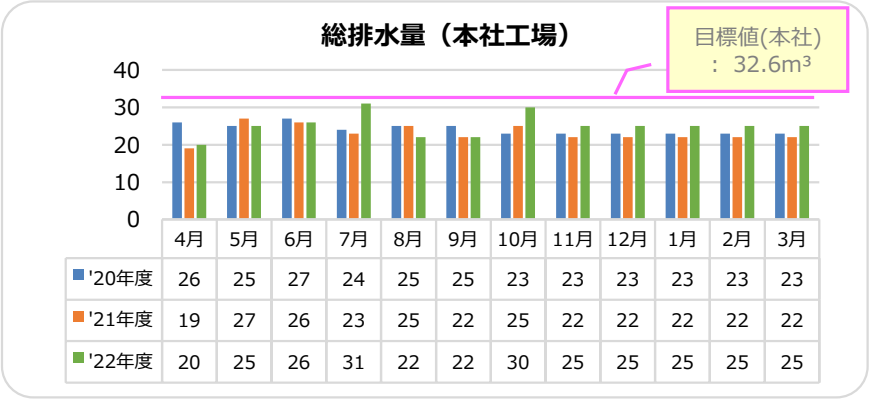
産業廃棄物については、生産に必要な材料のほとんどが客先支給であり影響を受けるが、自社でできることは可能な限り実践しており引き続き産業廃棄物削減へ向けた取り組みを行っていく。

③総排水量の削減

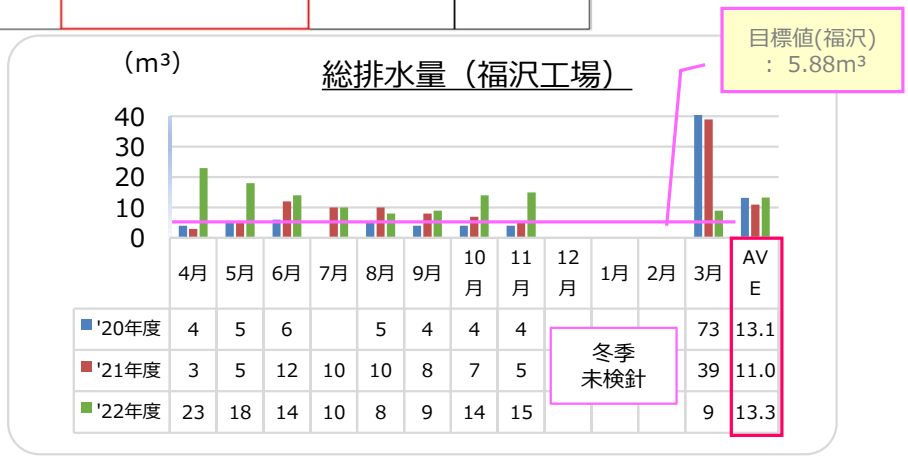
項 目		基準値	2022年度 対象期間 目標値	実績	評価	
総排水量			－ （工場別に目標値を設定）	－	－	
内訳	本社工場	34m³/月 （2018年実績）	32.6m³/月 （基準年度実績値の5%削減）	25.1m³/月 （平均）	129.9%	○
内訳	福沢工場	6/m³月 （2020年実績）	5.88m³/月 （基準年度実績値の3%削減）	13.3m³/月 （平均）	45.1%	×

評価コメント）

福沢工場の月別数値が過去2年と比較し異常を感じ水道部に確認したところ冬季間が雪の為、予測値との事で調整が入っている為に年単位での管理に変更の必要があり、かつ基準の20年度の基準値も適正ではなかった。24年度からの中期目標は変更が必要。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
'20年度	26	25	27	24	25	25	23	23	23	23	23	23
'21年度	19	27	26	23	25	22	25	22	22	22	22	22
'22年度	20	25	26	31	22	22	30	25	25	25	25	25



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	AVE
'20年度	4	5	6		5	4	4	4				73	13.1
'21年度	3	5	12	10	10	8	7	5				39	11.0
'22年度	23	18	14	10	8	9	14	15				9	13.3

※ 冬季間の未検針で調整が入り検討が必要

④化学物質使用量の削減

実績と評価コメント）

・生産に使用する溶剤の適正管理をすることができた。
引き続き管理と教育を徹底実施していく。

⑤製品・サービス関連

項　目	基準値	2022年度　対象期間		
		目標値	実績	評価
品質向上　後戻り工数の削減 (不具合の修理・修正にかかった時間)	16.8H/月 （2020年実績）	16.1H/月 （基準年度実績値の4%削減）	－	×

評価コメント）
後戻り工数削減を掲げていたが、体制変更に伴い取り組み内容そのものの見直しを実施しており結論が出ずに実施できなかった。
来期は実態を把握し精査したうえで取り組み内容を決め実施していく。

⑥その他（地域環境保全への協力）

項　目	内　容	2022年度　対象期間		
		目標	実績	評価
コミュニケーション向上　　環境教育の実施	環境教育関連の実施	1回/年	1回/年	◎
地域貢献活動　　会社周辺の清掃活動	会社周辺の清掃活動	2回/年	1回/年	△

評価コメント）
・年1回の開催となったが、会社周辺道路の側道のごみ拾いを実施できたが2回開催の目標に対しては実施できなかった。
　実施時期、時間帯を検討する必要性がある。

6、取り組み内容と評価

①二酸化炭素総排出量の削減

TNEの SDGs

評価［ できた：◎ 概ねできた：○ できなかった ：△ ］

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	○
		■照明器具の改善　（LED蛍光灯への切替90%済）	◎
		■デマンド管理の有効活用	○
		■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	◎
	■ガソリン・軽油使用量の削減（燃費の向上）	■アイドリング時間の削減	○
		■急発進、急加速はしない	○
		■不要な荷物はおろす	○
		■タイヤの空気圧を定期的に調整する	○
		■エコ運転カードの社有車への設置	◎

~活動の様子~

エアコンのフィルター清掃を定期的に行い、適切な空調管理を実施しました

②廃棄物排出量の削減

評価［ できた：◎ 概ねできた：○ できなかった ：△ ］

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物の削減 （リサイクルの推進）	■分別の徹底	○
		■コピー用紙のリサイクル継続	○
		■コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の継続）	○
		■トイレットペーパーは芯なしを使用継続	○
		■アルミ（プルタブ、缶等）の回収運動	○
	■産業廃棄物の適正管理	■保管場所の管理	○
		■マニフェスト・契約書類の管理	○

～活動の様子～

細かい分別の実施と
コピー用紙の再利用

③総排水量の削減

評価［ できた：◎　概ねできた：○　できなかった　：△ ］

環境経営目標	活動･取組項目	活動の具体的内容	評価
水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水（掲示）	◎
		■トイレの水流し音の継続	◎

～活動の様子～

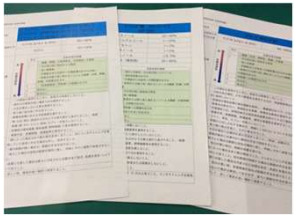
「水を大切に」表示による呼びかけと、「音姫」活用による節水を実施

④化学物質使用量の削減

評価［ できた：◎　概ねできた：○　できなかった　：△ ］

環境経営目標	活動･取組項目	活動の具体的内容	評価
化学物質使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続	○
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、従業員に教育する	○

～活動の様子～



溶剤への表示と危険有害性情報の教育を実施

⑤製品・サービス関連

TNEの SDGs

評価［ できた：◎　概ねできた：○　できなかった　：△ ］

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続	◎
		■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う	△
		■後戻り工数の削減	△

～活動の様子～

半田付スキル向上の取り組みを継続中！

⑥その他（地域環境保全への協力）

TNEの SDGs

評価［ できた：◎　概ねできた：○　できなかった　：△ ］

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	評価
その他	■敷地内緑化	■花壇を整備し、地域とのコミュニケーションを図る	△
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○

～活動の様子～

周辺道路のゴミ拾いを実施

周辺道路の草刈りを実施

7、環境関連法規などの遵守状況の確認　（評価の結果、違反・訴訟などの有無）

当社に適用される主な環境関連の法規等は、以下の通りです。

- ▶ 廃棄物処理法
- ▶ フロン排出抑制法
- ▶ 下水道法（本社工場）
- ▶ 浄化槽法（福沢工場）
- ▶ 置賜広域行政事務組合　条例
- ▶ 有機溶剤中毒予防規則

環境関連法規への違反はありません。
なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

8、次年度の環境経営目標と環境経営計画

※ 本社・福沢工場毎の目標設定は、二酸化炭素排出量と水使用量削減のみとし、
それ以外の項目は全社共通の目標としています

〈 環境経営目標 〉　　期間：2023年4月～2024年3月

項 目		基準年	実績値	環境経営目標（2023年4月1日～2024年3月31日まで）		中期経営目標（期間：2021年度～2023年度）			
				内 容	目標値	内 容	2021年	2022年	2023年
①二酸化炭素排出量の削減	■二酸化炭素排出量【本社工場】	2018年度	2.402（1時間当たり）(Kg-CO2/H)	基準年度実績値の3%削減	2.28Kg -CO2/H	基準年度実績値の5%削減	2.33	2.31	2.28
							3%削減	4%削減	5%削減
	■二酸化炭素排出量【福沢工場】	2020年度	1.726（1時間当たり）(Kg-CO2/H)	基準年度実績値の1%削減	1.67Kg -CO2/H	基準年度実績値の3%削減	1.71	1.69	1.67
							1%削減	2%削減	3%削減
②廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物	2018年度	1,818t（年）	基準年度実績値の1%削減（コピー用紙リサイクル向上により、一般廃棄物の削減を実施）	1,781t/年	基準年度実績値の2%削減（リサイクル率を増加し、一般廃棄物の削減を図る）	1,799t	1,790t	1,781t
							1%削減	1.5%削減	2%削減
	■コピー用紙（白）リサイクル	2019年度	購)349.8kg リ)69.3kg =19.8%	コピー用紙（白）のリサイクル率基準年度実績値の1%アップ	リサイクル率21.8%	基準年度実績値から2%増加（購入量とリサイクル量から算出）	リサイクル率20.8%	リサイクル率21.3%	リサイクル率21.8%
							1%増加	1.5%増加	2%増加
③水使用量の削減	■上 水(m^3)【本社工場】	2017年度	34/m^3月	管理と節水の呼びかけ基準年度実績値の3%削減	32.3/m^3月	基準年度実績値の5%削減	32.9/m^3月	32.6/m^3月	32.3/m^3月
	■上 水(m^3)【福沢工場】	2020年度	6/m^3月	管理と節水の呼びかけ基準年度実績値の1%削減	5.82/m^3月	基準年度実績値の3%削減	5.94/m^3月	5.88/m^3月	5.82/m^3月
④化学物質使用量の削減	■化学物質	-	-	適正管理の実施	-	適正管理の実施	-	-	-
⑤製品・サービス関連	■品質向上	2020年度	16.8H/月	後戻り工数の削減（基準年比）	15.8H/月	基準年度実績値の6%削減	16.5H/月 2%削減	16.1H/月 4%削減	15.8H/月 6%削減
⑥その他（環境保全）	■コミュニケーション向上	-	-	環境教育関連の実施	1回/年	環境に関する教育を実施する	1回/年		
	■地域貢献活動	-	-	会社周辺の清掃活動	2回/年	会社周辺の清掃活動	2回/年		

〈 2023年度　環境経営計画 〉

環境経営 目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 （どのように）	実施時期 （いつ）	該当場所・部門 （どこで）	担当者 （だれが）	持続可能な未来へ！ TNEのSDGｓ
①二酸化炭素 排出量の削減	■消費電力の削減	■定期的にエアコンのフィルターを清掃する	8月、12月	全社	技術G	
		■照明器具の改善 ■デマンド管理の有効活用 ■休み時間は不必要な照明を消灯することの継続	通年		EA21事務局 職場リーダー	
	■ガソリン・軽油使用量の削減 （燃費の向上）	■アイドリング時間の削減 ■急発進、急加速はしない ■不要な荷物はおろす ■タイヤの空気圧を定期的に調整する ■エコ運転カードの社有車への設置	通年	全社有車	会社車両運転者 全員	
	■その他化石燃料の削減 （灯油・LPG）	■ウォームビズの促進　※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	暖房期	全社	全員	
		■クールビズの促進　※すぐにエアコンで調整しない取り組みを実施	冷房期			
②廃棄物 排出量の削減	■一般廃棄物の削減 （リサイクルの推進）	■分別の徹底	通年	全社	EA21事務局	
		■コピー用紙のリサイクル継続		廃棄物置場	EA21事務局	
		■コピー用紙削減（両面コピー・裏紙利用の継続） ■トイレットペーパーは芯なしを使用継続		全社	全員	
	■産業廃棄物の適正管理	■保管場所の管理		廃棄物置場	産業廃棄物 担当者	
		■マニフェスト・契約書類の管理		事務	総務部	
③水使用量の削減	■水道使用量の削減	■水使用時の節水（掲示）	通年	全社	全員	
		■トイレの水流し音の継続				
④化学物質 使用量の削減	■化学物質の適正管理	■化学物質の適正な管理の継続	通年	全社	EA21事務局	
		■化学物質の人体への影響をSDSを元にまとめ、従業員に教育する				
⑤製品・サービス関連	■製品の品質向上	■半田付スキル向上の認定試験受験継続	通年	製造	該当者	
		■品質改善活動を通して、仕損金の削減を行う ■手順書作成による作業標準化の継続		全社	品質管理部	
	■職場改善による作業効率化	■職場改善を実施し、作業効率化を図る				
⑥その他 （環境保全）	■敷地内緑化	■会社周辺の整備を実施し、地域とのコミュニケーションを図る	通年 （冬季を除く）	全社	EA21事務局 EA21推進委員会	
	■環境教育の実施	■環境に関する教育を推進委員会を中心に実施する	年1回	全社		
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年２回	会社周辺		

９、代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の評価）

代表者、会社組織変更による初年度となり、継続を意識しながらも全体的な見直を進めるようプロジェクトを立ち上げメンバーを社長名で任命し新たに取り組みを開始した初年度となった。

業務としても少量多品種から中量産品への移行を進めていき、中長期の予定の見える製品への切り替えを進め安定経営への路線変更を進めている。
その中で、23年度のエコアクションへの取り組みは中期計画最終年として継続しながら24年度から新たな中期目標を設定し、実態に合った目標設定の中で取り組み24年度からの指標になる年度とするよう指示した。

指示）

・経営理念も新たに定め、社員が一丸となって理念に則った行動をとること。

・22年度は工場内の整備（ハード面）を積極的に実施し進めて行くのでエコアクションへの取り組みに繋げてほしい。

・製造会社として安定した製品製作を実施していくこと。

・親会社の製造工場として会社見学も増えていく、エコアクションへの取り組みもツールとし拡販できるよう維持継続していくこと。

最後まで読んでいただきありがとございました